

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-9567
 住 所 川崎市川崎区白石町2-1
 氏 名 日本鑄造株式会社
 代表取締役 岩波秀樹

印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本鑄造株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区白石町2-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	鑄鋼製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,449	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境・設備部
		所在地	川崎市川崎区白石町2-1
		電話番号	044-322-3753
		FAX番号	044-322-3769
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度（報告年度 平成26年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 8,828 t-CO ₂ (調) 8,817 t-CO ₂	(実) 10,233 t-CO ₂ (調) 10,219 t-CO ₂	(実) 8,252 t-CO ₂ (調) 8,243 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 16,234 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削減率		(実) -15.9 % (調) -15.9 %	(実) 6.5 % (調) 6.5 %	(実) % (調) %	(実) -83.9 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	溶解量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.372	1.272	1.560		1.360
削減率		7.3 %	-13.7 %	%	0.9 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成25年4月から新ラインが生産を開始し、エネルギー消費が増え、二酸化炭素排出量が増えたが、新ラインでの消費エネルギーが少ないため、原単位は小さくなった。
第2年度	新ラインは需要の減少により、生産をほぼ停止した。生産量の減少により、二酸化炭素排出量の低減となったが、原単位は上昇した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備等の保全管理 主要設備について作成している管理標準を定期的に見直すとともに、包括的に管理標準を作成できる設備(空調・照明)においては包括的管理標準の作成を行う。 ○照明設備 高効率照明設備を導入する。 ○高周波炉高効率コイルの採用
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○照明設備の交換時に高効率照明設備を導入した。 ○加熱炉新設時に熱交換器を採用した。 ○コンプレッサーの新設時に回転数制御と台数制御運転システムを採用した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備の高効率照明への転換を進めた。 ○老朽化した空調設備をトップランナー設備に交換した。 ○高周波炉コイルを更新時に高効率タイプに替えた。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	○廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 ○従業員の通勤における公共交通機関の利用の促進（通勤における温室効果ガス排出量の削減） ○製品出荷における配送の効率化（輸送における温室効果ガス排出量削減）
第1年度	○廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 ○従業員の通勤における公共交通機関の利用の促進（通勤における温室効果ガス排出量の削減）
第2年度	○廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 ○従業員の通勤における公共交通機関の利用の促進（通勤における温室効果ガス排出量の削減）
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	8,882	t-CO ₂
(調)	8,805	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎区白石町2-1	2253	鋳鋼製造業	5,815 t-CO ₂
池上工場	川崎区池上町2-1	2253	鋳鋼製造業	3,067 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--